

授業科目名	観光交通論	担当教員	野津 直樹
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年第3クォーター		
講義内容	観光について考える際、交通は重要な要素のひとつである。本講義では、現代の我々にとって馴染み深い観光の成立に、交通の発展がどのように関わってきたのか、世界・日本・但馬それぞれの歴史に触れながら概説する。その上で、現在の但馬観光にあたって人々が利用することのできる交通手段の現状を詳しくまとめ、その強みや利点を知るとともに、課題と改善策についても検討し、受講者一人ひとりが自分なりの意見を自身の言葉でまとめていく。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観光と交通の関係について、その歴史を踏まえて説明することができる。 ・但馬地方を訪れる観光者がどのような交通手段を利用できるか説明できる。 ・但馬地方の観光交通が抱える課題を見つけ、その改善案を自身の言葉で表現、提案できる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光とは何か ～観光の誕生と交通～ 2. 交通史と観光 (1)世界編 3. 交通史と観光 (2)日本編 4. 交通史と観光 (3)但馬編 5. 但馬観光と交通 (1)鉄道編 6. 但馬観光と交通 (2)バス編 7. 但馬観光と交通 (3)道路編 8. 但馬観光と交通 (4)空港・港湾編 9. モビリティ・マネジメントと観光 10. 交通マーケティングと観光 11. インバウンド観光と交通 12. 交通の未来と観光の未来 		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で学んだ内容の中から、自身が特に興味を持ったキーワードについて詳しく調べ、ミニレポートを提出すること。 		
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・特に指定しない ・各回の授業において資料を配付する 		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業において適宜紹介する 		
成績評価の基準	ミニレポート（60%：各5%×全12回）、定期試験（40%）により評価する。		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。		
備考欄			